

やなぎの子

坂戸市立片柳小学校 学校だより
令和7年度5月号（令和7年4月25日発行）
児童数：323名
Tel 283-4735 Fax 289-1015

学校教育目標

よく考え 心豊かに たくましく

【校訓】かしこい子 たくましい子 やりぬく子 なかよくする子 気持ちよく働く子

《地域の学校 片柳小学校》

令和7年3月28日、私は初めて片柳小学校を訪れました。前任の北原文子校長先生との引継ぎでした。校長室に通され、歴代校長の写真が目に入り、それを見ただけで歴史のある学校であるという思いを持ちました。

4月8日、入学式、来賓として区長、民生児童委員・主任児童委員の方まで臨席いただきました。コロナ禍以降、入学式・卒業式の簡素化が図られてきました。その中で、日頃より学校の教育活動にご尽力されている地元の方々の臨席を見合わせる動きが全国的に広がりました。そんな中、本校では、先に挙げた方々を来賓として臨席いただけることは、大変すばらしいことです。

4月9日以降、子供たちの登下校を見させていただきました。登校時も下校時も保護者、地域の方が多数、子供たちの見守りに出ていただいていた。

また、米作りをはじめ多くの教育活動に保護者、地域の方の協力を得て実施できています。むしろ、その協力がなければ、本校の教育活動が色褪せてしまうのではないかとさえ、感じました。

着任して間もないですが、みなさんが本当に片柳小学校の子供たちを大切にされていることを感じ取ることができました。そんな片柳小学校に教職員の一人として関わること、本当に幸せだと感じています。

そして、「地域の学校」である片柳小学校の一員として、「地域の宝」である子供たちの育成に関わり、充実した日々を送りたいと考えています。

片柳小学校は、現在に至るまで数多くの地域の児童を卒業させ、これからも多くの児童がこの片柳小学校で学ぶことでしょう。本校で学ぶ児童は地域の方に支えられて卒業していきます。学ぶ児童が変わっても地域の方が学校を、児童を支えていただいていることに変わりはありません。

そして、自分のことも、友達のことも、地域のことも大切に考え、愛情をたくさん感じながら成長した児童が、この地域を愛し、この地域で育ったことを誇りに思い、地域の大人として片柳小学校で学ぶ児童を支えることを願っています。

今後も本校が、「地域の学校」として、「地域の宝」である子供たちを育成し続けてまいります。引き続き、片柳小学校の教育活動に対して、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《運動会に向けて》 ○ たくましい子 ○ やりぬく子 ○ なかよくする子

5月31日（土）、片柳小学校の運動会が開催されます。

詳細につきましては、今後、保護者通知や学年だよりなどでお知らせいたします。

ゴールデンウィーク明けには、それぞれの学年の練習が始まるかと思います。その際には、音楽を流したり、雷管を使用したりします。特にご近所の方々には、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

運動会、赤組・白組に別れ、それぞれの組が協力して、取り組みます。学校行事は、一人一人の子供が力を伸ばす絶好の機会だけではなく、クラスや学年など集団の力を伸ばす絶好の機会でもあります。

ご家庭での体調管理、励ましをお願いします。

＜授業参観・懇談会ありがとうございました。＞

4月15日(火)から18日(金)にかけて、本年度最初の授業参観・懇談会がありました。お忙しい中、多くの保護者の方に学校までご足労頂き、本当にありがとうございました。これも、本校の教育活動に対する期待の表れと感じています。



当日は、各クラスとも子供同士が楽しく学べる授業を見ていただきました。懇談会では、各担任からは学年・クラスでの方針等を具体的に説明させていただきました。

佐藤の方では、所用の為、挨拶できなかった学年があったことについては、申し訳なく思っております。

片柳小学校の子供の健やかな成長を保護者の方と共有しながら教育活動を推進してまいります。その為には、家庭・学校での子供の姿、小さな変化をお互いに共有することが大切だと感じています。何か気になることや不明な点、子供の小さな変化等、気軽に担任と共有できればと考えております。

また、教育活動について、様々な面でご家庭の協力をお願いすることがあります。趣旨等を踏まえ、ご理解・ご協力を賜りますよう、改めて、お願い申し上げます。

＜本に触れる＞ ◎ 心豊かに ○ なかよくする子 ○ かしこい子 ○ たくましい子

毎週月曜日の朝、1時間目の授業の前、「朝読書・読み聞かせ」の時間です。4月14日(月)、令和7年度、第1回目の時間でした。低学年では、読書活動支援員や読書ボランティアによる読み聞かせや紙芝居、高学年では、各自で本を選び、朝読書。

学校で、意図的に「朝読書・読み聞かせ」の時間を設定しているのには理由があります。読み聞かせでは、人が話す言葉や挿絵を手掛かりに語られている情景を頭の中に思い浮かべ、ストーリーを再構築させ、そこに登場する人や動物の気持ちを感じ取る一連の思考をしています。読書では、文字からこの一連の思考を行います。

家庭では、お子さんは読書をしているのでしょうか？子供と関わる大人が読書をしていなければ、子供は本を手取ることはしません。また、大人が読書をしているからと言って、必ずしも子供が読書をしているとも限りません。



今日、子供の周りには、様々なものがあふれています。SNS、ゲーム、YouTube、テレビ…。読書よりも面白そうで、刺激的なものが。だから、わざわざ、骨の折れる読書よりもお手軽なゲームに手を伸ばします。

また、AIの飛躍的な進歩で、様々な分野でAIが人間に取って代る分野が増えています。逆にAIが苦手とするのは、高度な読解力と常識、人間らしい柔軟な判断が要求される分野だと言われています。ところが、中高生の多くは、教科書に書かれた文章の意味を理解できておらず、読解力が危機的状況にあると訴えている科学者が少なからずいます。

そうした、危機に対処するべく、ご家庭でも本に触れる機会を設けていただけるとありがたいです。

＜片柳小学校の機関車 6年生＞ ○ きもちよく働く子

1年生の朝は、ご家庭でも学校でも大騒ぎ？起床して、元気に登校するまでにやることがたくさん。学校でも、登校して、学習の準備をするまでにやることがたくさん。必要なものを引き出しに入れ、提出物を出し、ランドセルを決まった場所に決まった通りに置く。慣れてしまえば、なんてことはないのですが、最初は大変。



そんな中、毎朝6年生が数名、日替わりで1年生の教室にお手伝いに来てくれています。提出物をチェックして、番号順に並べたり、朝の準備を手伝ったり。とても頼もしい6年生。片柳小学校の誇りです。